

表 1

表①

村	明治9年 (1876)	明治23年 (1890)	明治39年 (1906)	大正9年 (1920)	昭和10年 (1935)
桜井谷村	1,564人	1,653人	1,636人	1,867人 (1,243人)	3,815人
麻田村	1,194	1,067	1,156	2,026 (972)	5,577
豊中村(町)	2,505	2,857	2,753	6,218 (2,024)	24,127
熊野田村	1,031	1,216	1,438	1,466 (979)	3,169
中豊島村	1,214	1,294	1,422	1,858 (1,052)	4,405
南豊島村	2,243	2,472	2,726	3,651 (2,098)	6,841
小曾根村	1,659	1,783	2,022	2,427 (1,429)	4,371
庄内村	1,904	2,110	2,462	3,649 (2,099)	6,192
計	13,314	14,452	15,615	23,162 (11,896)	58,497
上新田	642	605			
新田村	907	1,007	1,231	1,241 (927)	1,536

表②

村	明治9年 (1876)	明治23年 (1890)	明治39年 (1906)	明治44年 (1911)	大正4年 (1915)	大正9年 (1920)	大正14年 (1925)	昭和5年 (1930)	昭和10年 (1935)
桜井谷村	95	100	99	111	115	113	124	154	230
麻田村	112	100	108	115	130	190	253	347	522
豊中村(町)	88	100	96	100	121	218	373	564	844
熊野田村	85	100	118	133	129	121	126	164	260
中豊島村	94	100	110	122	129	144	182	234	340
南豊島村	91	100	110	121	131	148	181	222	276
小曾根村	93	100	113	121	125	136	155	174	245
庄内村	90	100	117	133	142	173	192	224	293
計	92	100	108	118	128	160	212	282	404
上新田	106	100							
新田村	90	100	122	123	130	123	125	139	152

〔注1〕 表①は実数であり、表②は明治23年を100とする指数表示である。なお、大阪府統計書では「現住人口」、他は「人口」を採録した。大正9年の実数欄には()内に自村出生数を付記したが、その「計」は単純合計であり、各村出生者が自村以外のこれらいずれかの村に居住したか否かは考慮していない。

〔注2〕 新田村については、上新田のみの人口は明治39年以後は得られないので、ここでは仮に上新田地区を除いて豊中市域としてある。

〈明治9年は『大阪府全志』、同23年は『明治二十四年徴発物件一覧』、同39・44年・大正4年は『大阪府統計書』、大正9年以降は『国勢調査』をもとに作成〉

(『新修豊中 豊中市史』第八巻社会経済、297頁)

表 4－7 豊中市域の職業別人口(大正 9 年)

村	有 業 人 口								無職	総人口
	農業	工業	商業	公務員 自由業	交通	家事	その他	計		
	%	%	%	%	%	%	%	人	人	人
桜井谷村	79.7	6.7	5.1	4.3	3.2	0.3	0.8	886	981	1,867
麻田村	38.4	18.1	17.7	14.1	7.0	0.7	4.1	753	1,273	2,026
豊中村	22.4	24.8	38.4	8.8	3.1	0.1	2.3	2,280	3,938	6,218
熊野田村	75.0	6.2	9.7	6.9	1.1	0.2	1.1	567	899	1,466
中豊島村	59.8	13.9	12.3	6.8	5.6	0.5	1.0	868	990	1,858
南豊島村	65.4	12.5	12.6	6.2	2.0	0.3	1.0	1,622	2,029	3,651
小曽根村	58.2	23.3	10.1	2.9	4.2	0.1	1.2	1,233	1,194	2,427
庄内村	55.7	22.1	10.5	5.1	3.9	0.0	2.7	1,684	1,965	3,649
計	53.4	18.0	17.4	6.1	4.1	0.2	1.9	9,893	13,269	23,162
新田村	83.9	3.2	7.8	3.4	0.9	0.0	0.8	527	714	1,241

〈『大正九年国勢調査報告』をもとに作成〉

表 4－8 豊中市域の職業別人口(昭和 5 年)

村	有 業 人 口								無職	総人口
	農業	工業	商業	公務員 自由業	交通	家事	その他	計		
	%	%	%	%	%	%	%	人	人	人
桜井谷村	60.9	11.1	7.9	8.0	3.1	4.0	4.9	1,033	1,529	2,562
麻田村	32.4	14.0	14.4	23.4	5.2	7.6	3.0	1,247	2,455	3,702
豊中町	7.3	17.6	26.5	27.7	3.5	14.2	3.2	5,888	10,241	16,129
熊野田村	64.4	8.5	11.7	9.3	1.6	3.4	1.1	890	1,111	2,001
中豊島村	37.8	12.5	20.7	16.6	3.7	7.1	1.5	1,245	1,794	3,039
南豊島村	39.9	15.1	12.9	13.6	4.2	11.5	2.8	2,220	3,285	5,505
小曽根村	45.7	26.1	10.5	7.2	5.3	2.8	2.3	1,362	1,758	3,120
庄内村	39.2	29.3	14.7	7.1	3.5	1.0	5.2	2,097	2,635	4,732
計	30.3	17.9	18.3	17.8	3.8	8.8	3.2	15,982	24,808	40,790
新田村	78.3	2.4	8.4	4.0	1.5	2.8	2.7	678	721	1,399

〈『昭和五年国勢調査報告』をもとに作成〉

(『新修豊中 豊中市史』第八巻社会経済、301 頁)

表3 豊能郡の主要物産・産地(豊中市域を中心に)

(単位:円)

物産	大正3年 (1914年)	大正7年 (1918年)	大正10年 (1920年)	豊中市域の産地	市域を除く豊能郡産地
米	1,222,648	2,577,876	3,325,809	酒造米:桜井谷村	萱野、箕面、北豊島村、池田町
筍	18,900	82,069	284,760	熊野田、桜井谷、豊中、小曽根村	豊津村
枇杷	13,361	5,927	9,954	小曽根村	止々呂美村、池田町
桃	6,038	7,485	22,683	中豊島村	北豊島、豊津、萱野、箕面、秦野村
蜜柑	57,374	60,993	203,680	桜井谷村	秦野、箕面、豊津、萱野村、池田町
庭木(松)	—	—	—	熊野田村	
養蜂	—	—	—	南豊島村	池田町、秦野、箕面村
養鶏	9,444	24,506	74,601		全郡
清酒	317,880	779,296	1,006,370	豊中村	池田町、歌垣、東能勢、枳根荘、萱野、田尻、東郷、西郷
藁細工品	116,310	181,856	241,434	南豊島、中豊島、庄内、熊野田、小曽根、麻田村	
竹細工	11,408	16,073	22,837	麻田村	東能勢村

(『新修豊中市史』8巻社会経済305頁、箕面市所蔵資料をもとに作成)

表 4

表 5－18 大阪府都市別の工業生産額

市・郡	染織	機械	化学	飲食	雑	生産額合計
大阪市	23.2%	35.0%	19.4%	4.9%	17.5%	515,700,386円
西成郡	51.3	14.9	27.9	1.7	4.2	207,921,405
東成郡	72.8	9.5	4.8	11.0	1.8	195,568,047
三島郡	8.0	8.9	10.5	68.6	4.0	17,656,766
豊能郡	31.7	1.9	35.9	28.2	2.3	3,031,131
堺市	30.9	9.1	23.9	22.9	13.2	68,333,479
泉北郡	92.0	0.9	6.4	0.3	0.4	32,608,128
泉南郡	85.3	2.1	8.9	2.5	1.3	100,865,802
南河内郡	66.1	4.9	13.2	8.9	6.9	11,401,603
中河内郡	65.3	8.2	20.6	0.1	5.7	18,794,153
北河内郡	72.5	11.6	8.2	5.5	2.1	8,495,460
大阪府計	45.4	20.4	17.3	7.1	9.8	1,177,058,264
大阪市	22.4%	75.1%	49.0%	30.5%	78.0%	43.8%
西成郡	20.0	12.9	28.5	4.4	7.5	17.7
東成郡	26.7	7.8	4.6	25.8	3.0	16.6
三島郡	0.3	0.7	0.9	14.5	0.6	1.5
豊能郡	0.2	0.0	0.5	1.0	0.1	0.3
堺市	3.9	2.6	8.0	18.8	7.8	5.8
泉北郡	5.6	0.1	1.0	0.1	0.1	2.8
泉南郡	16.1	0.9	4.4	3.0	1.1	8.6
南河内郡	1.4	0.2	0.7	1.2	0.7	1.0
中河内郡	2.3	0.6	1.9	0.0	0.9	1.6
北河内郡	1.2	0.4	0.3	0.6	0.2	0.7

〔注〕 上段は各都市の工業生産額に対する分類項目ごとの比率であり、下段は各都市の大阪府合計に対する比率である。なお、原史料には化学工業生産額で一個所に10,000円の誤差があるが、そのまま集計した。

〈大阪府産業部『大正9年12月末現在大阪府工業調査』をもとに作成〉

(『新修豊中 豊中市史』第八巻社会経済、386頁)